

市民オケが挑む!!

丹沢秦野で脈々と受け継がれる市民参加型の音楽祭

# アルプス交響曲

第34回 丹沢音楽祭

2024

3月17日 日

開場 13:30

開演 14:00

クアーズテック秦野カルチャーホール 大ホール

一般 2,500円〔税込〕 学生 1,000円〔税込〕 全席自由  
(小中高)

プログラム 武満徹 オークストラのための波の盆、  
リヒャルト・シュトラウス アルプス交響曲、加藤正二 丹沢讃歌

指揮 新通英洋

バンド指揮 岩下光樹

新通英洋



秦野市民交響楽団



西湘フィルハーモニー管弦楽団



パーカッショングループフォーライフ

▼ チケットお求めはこちらから ▼

クアーズテック秦野カルチャーホール

窓口購入(秦野市平沢82)または電話予約(☎0463-81-1211)

休館日(毎週火曜、祝日の翌日ほか、祝日の振替日)は除く

2月3日日より  
チケットぴあ  
でも販売開始

▶WEB予約… <https://t.pia.jp/> (Pコード: 261855)

▶店頭購入… セブンイレブン (Pコード: 261855)

※別途手数料がかかる場合があります

※未就学児の入場はご遠慮ください

主催: 第34回丹沢音楽祭実行委員会 後援: 秦野市 協力: 秦野市音楽協会、秦野市合唱連盟

お問い合わせ クアーズテック秦野カルチャーホール ☎ 0463-81-1211

## 出演者プロフィール

### 新通 英洋 (指揮)

桐朋学園、モスクワ音楽院において指揮を学ぶ。秋山和慶、小澤征爾、尾高忠明、黒岩英臣、高階正光、L.ニコライエフ、V.シナイスキーの各氏に師事。英国ロイヤルオペラハウス、イングリッシュ・ナショナルオペラ、BBCウェールズ交響楽団等のリハーサルで研鑽。第5回フィテルベルク国際指揮者コンクールにおいて第2位ならびに特別賞受賞。ワルシャワでシンフォニア・ヴァルソヴィアを指揮してヨーロッパ・デビュー。E.モギレフスキー、G.シャハム、東誠三、佐々木典子、高橋絵理、高橋多佳子、横山幸雄各氏をはじめとする多くのソリストと共演。2021年9月には元新日本フィルハーモニー交響楽団コンサートマスター磯崎陽一氏と東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団によるメンデルスゾーン&ブルッフのヴァイオリン協奏曲CDをソナーレ・レコーズよりリリース。これまでに大阪フィルハーモニー交響楽団、九州交響楽団、群馬交響楽団、札幌交響楽団、東京交響楽団、東京シティ・フィルハーモニー管弦楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、読売日本交響楽団、ポーランド・シレジア・フィルハーモニー管弦楽団等を指揮。2015年から2017年2018年2019年と続けてロイヤルバンコク交響楽団に客演、地元紙バンコクポストでも「オーケストラと指揮者の出会いはお互いに本当に幸福だった。ロイヤルバンコク交響楽団と彼の真の勝利体験に観客は熱狂した」と絶賛された。オペラでは「こうもり」「森は生きている」「後宮からの逃走」「フィガロの結婚」「ドン・ジョヴァンニ」「ラ・ボエーム」等を指揮し高く評価された。大阪音楽大学特任教授。豊田市コンサートホール・能楽堂企画運営委員会委員、日本芸術文化振興会 芸術文化振興基金運営委員会 文化団体活動専門委員会専門委員を歴任。

### 岩下 光樹 (バンド指揮)

東京芸術大学、ベルリン“ハンス・アイスラー”音楽大学(ドイツ)にてホルンを学ぶ。その間、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、ベルリン・コーミッシェオーパー(ドイツ)などに度々出演。またエッセン・コロッセウムテアター(ドイツ)の2001年シーズンにおいては、病気療養中のソロ・ホルン奏者の代理として契約。ミュージカル「エリザベート」の公演にレギュラー出演。帰国後2004年より2年間、東京音楽大学にて指揮を学び、現在は各地のアマチュア・オーケストラ、吹奏楽団で指揮・指導している。これまでに、ホルンを三好隆三、守山光三、松崎裕、ロルフ・ルードヴィヒ、指揮を広上淳一、船橋洋介の諸氏に師事。



### 江上 靖 (オーケストラ指導)

洗足学園音楽大学卒業、同大学専攻科修了。コントラバスを中博昭、菅野明彦氏に、指揮を河地良智、小松一彦氏に師事。東京シティフィル、シエナ・ウインドオーケストラ等にコントラバス奏者として出演。現在、西湘フィルハーモニー管弦楽団指揮者。他に神奈川県立伊志田、大和高校吹奏楽部指導者。小田原フィル、秦野市響等のトレーナーを務める。



### 秦野市民交響楽団

1978年に「秦野をオーケストラの響く心豊かな市(まち)」との想いを抱き創立された、アマチュアオーケストラ。年に2回の定期演奏会を中心に、丹沢音楽祭への参加、市内小学校の依頼演奏など、数々のコンサートを重ねている。2022年10月には80回記念演奏会を開催、アマチュアオーケストラでは日本初演となるブルックナー交響曲第3番(初稿)やナヴァッロのクラリネット協奏曲第2番(オーケストラ版)など様々な曲に取り組み、その後もオーケストラとしての発展と地域に生きた音楽をお届けする、ということ胸に活動を続けている。

### 西湘フィルハーモニー管弦楽団

秦野市に2011年3月に設立した市民オーケストラ。25名の少人数ながら、毎回の練習でプロの音楽家のご指導を仰ぎ、「クラシック音楽の生演奏を地域にお届けする」を目標の一つとしている。楽団員は、楽器の経験や演奏技術、年齢も様々で、和気藹々と年1回の定期演奏会とアンサンブルコンサートを目指して活動している。活動拠点である秦野市に感謝し、クアーズテック秦野カルチャーホールで演奏会を開き地域の人々に生の音楽を届けている。

### パーカッショングループ フォーライフ

1993年に相原啓子とその弟子により結成された、マリimbaを中心とした打楽器演奏をおこなっているグループ。年に一度のチャリティーコンサートの開催や各地での演奏活動のほか、市内外の保育園や幼稚園、小中学校、福祉施設などで演奏活動をおこなっている。地域と共に歩むグループを目指し、秦野市を中心に、演奏を通してマリimbaの魅力伝えていく。メンバーはそれぞれソロやアンサンブル、後進の育成などでも活躍中。※写真はフォーライフの代表を務めた相原啓子さん



## 丹沢音楽祭とは

市民の手で1984年から連綿と続く丹沢音楽祭は「人間性豊かな地域文化の創造と参加」を目的に、県央5市町村で音楽活動を行う人々の情熱から発案されました。第1回プログラムには主催の秦野市・同祭実行委員会・秦野市文化会館事業協会のほか、秦野市・伊勢原市・厚木市・愛川町・清川村の教育委員会や県央合唱連盟、秦野市音楽協会が後援に名を連ねています。音楽とともにこよなく故郷「丹沢」を愛する音楽仲間の協調と友好の輪を広げ、市民による手づくりの音楽祭を目指していきなさいという思いから、「丹沢音楽祭」と命名された旨も記されています。これまでも数々のドラマが繰り広げられてきた丹沢音楽祭。今回の34回音楽祭では、丹沢秦野エリアで活動する市民オーケストラが難曲『アルプス交響曲』に挑みます。